



ツツジ (中庭)

麻里布小だより

<http://www.edu.city.iwakuni.yamaguchi.jp/site/marifu-e/>



令和4年6月号 大野元良

特別活動で育てたい「自主性」や「所属感」

5月も中旬となり、新緑の季節を迎えました。子どもたちは新しい学級に慣れ、毎日の学校生活に生き生きと取り組んでいるところです。

こうした中、去る5月2日には、「みんなニコニコわくわく麻小っ子集会」(1年生を迎える会)を開催しました。異学年のグループを構成(縦割り班活動)して、ゲームに取り組んだり、事前に用意したプレゼントを1年生に渡したりして、全校児童が楽しい時間を過ごしました。こうした活動は、学習指導要領において、教科等の学習とともに、特別活動という領域として取り組むことになっています。さらに、特別活動は、学級活動、児童会活動、クラブ活動及び学校行事により構成することとなっており、前述した集会や5・6年生が担当する委員会活動等は、児童会活動の一環となります。

特別活動は、自分たちで企画することで自発性や自治力を育み、実践的な集団活動の中で身につけたことを生かして、集団や社会における生活を豊かなものにするとともに、人間関係をよりよく形成すること等をねらいとしています。

本校の特色である縦割り班活動等を大切にしながら、「わくわく」する気持ちを高揚させ、ねらいを達成するとともに、他者との関わることの温かさを感じながら、集団への所属感が高まるように取組を継続していきます。

また、5月6日の昼休みには、児童会活動の一つである「代表委員会」を開催しました。28日に予定しているスポーツイベントの名前や目標についての話し合いが主な内容でした。参加児童が活発に意見発表する姿は、実に頼もしいものでした。

特別活動の取組の中で、確かな力が育まれています。



1年生を迎える会



代表委員会

麻里布小学校は、「コミュニティ・スクール」です!

5月13日に、第1回学校運営協議会を開催しました。昨年度の学校だより6月号でもお知らせしましたが、協議会を設置した学校は、「コミュニティ・スクール」と称することができます。協議会を中核に、学校の取組をしっかりと開き、地域の皆様の声をお聞きしながら、また、お力をお借りしながら、学校教育目標の達成に向けて、学校運営の質の向上を図っていく所存です。

昨年度は、学校にご協力いただく場(学校支援)を少しずつ増やしていきましたが、本年度は地域のためにできること(地域貢献)について、工夫していきたいと考えているところであり、協議会で貴重なご意見をいただきました。地域と連携した教育をさらに活性化させていきたいと考えています。

また、当日は授業参観の時間を設けたところ、集中して学習する子どもたちの様子や、教師の指導する姿勢をほめていただきました。これからの大きな励みとなります。

～令和4年度 学校運営協議会委員の皆様です～

安達 敏雄 様(会長)	大成 芳道 様(副会長)		
橋本 正之 様	貴船 齊 様	貴船 明美 様	
末河 聡 様	藤本 貴也 様	明瀬 健資 様	
高橋 正徳 様	若林 邦江 様	川村 宏司 様	
藤本 英治 様	本校教職員 9名		計 21名



～祝 令和4年度「麻里布小学校は開校150周年」～